

# 行財政改革実施計画・行動計画票

No.	7	[平成18年5月27日提出]			
基本方針	財政の健全化	担当課名	財政課		
重点項目	歳出削減に向けた主要な取り組み (2) 内部管理経費等の削減				
取組項目	シーリングの設定				
経過・現状 (H17.4.1現在)	・平成17年度の予算編成方針により、事務事業全般にわたり経費の節減合理化に努めることと通知を行った。 ・物件費のH16決算額 - 2,902,635千円 ・物件費のH17予算 - 2,660,127千円( 242,508千円、8.4%の減)				
行動概要	目標	内部経費について、シーリングの設定を行う。 (目標年次) 平成17年度			
	期待される効果	・予算編成時における内部経費(主に物件費)の削減。 ・物件費の削減効果額を1,532百万円に設定(財政健全化計画)。			
	必要性・問題点	(必要性) ・内部経費の削減。 (問題点) ・削減には各種施設の統合や廃止が不可欠であり、住民の理解と協力が必要なこと。 ・職員のコスト意識の徹底。			
	対象	全職員			
	手段	年度	実施内容・予定時期	効果額合計( 2,304,923 千円)	
		17年度 (実績)	・当初予算の編成に、光熱水費 5%、燃料費 10%など経費ごとに率を定めてカットを実施した。 ・物件費について、平成17年度の当初予算を基準として、H18～H20を 20%、H21を 10%と概算要求基準を設定した。  ・物件費の決算見込み額 - 2,459,810千円 (対前年度 15.3%の減)	目標数値	効果額については、H16決算額との差額を計上。
		18年度	/	効果	H17当初予算; 20%削減  効果額については、H17当初予算の20%削減額を計上。 歳入( 千円) 歳出( 532,025 千円)
	19年度	/	効果	H17当初予算; 20%削減  効果額については、H17当初予算の20%削減額を計上。 歳入( 千円) 歳出( 532,025 千円)	
	20年度	/	効果	H17当初予算; 20%削減  効果額については、H17当初予算の20%削減額を計上。 歳入( 千円) 歳出( 532,025 千円)	
	/	/	効果	H17当初予算; 10%削減  効果額については、H17当初予算の10%削減額を計上。 歳入( 千円) 歳出( 266,013 千円)	
関係例規等	名称			改正時期	